

令和六年度 A 日程 国語

四				三		二				一							問題	正答	配点																				
(四)	(三)	(二)	(一)	(二)	(一)	(四)	(三)	(二)	(一)	(四)				(三)	(二)	(一)																							
ウ	イ	エ	つかいよう	(例) 筆者は、文学を読むことで別の誰かの目で見世界を見ることができ、人間に対する関心を深め、想像力を広げることができると述べている。私も文学を読むことで、人間の心理や社会のしくみなどを知ることができたので、文学は視野を広げてくれると考える。	(例) 文学研究者には、名作に目を向けてもらう努力をするという使命があり、人々を読みたい気持ちにさせるように作品の価値を明らかにし、味わうための読み方を示す必要がある。	イ	(例) さまざまな音楽的要素を一致させると、かえって味気のない音になったことを面白いと捉え、オーケストラサウンドの魅力は奏者の奏でる音が一致しないところにある	エ	代わり	7 ア	6 後ろの方に置く	5 何度も改行して動詞を継続させている	4 ウ	3 ア	2 エ	1 連体詞	イ	1 貯蔵	2 盛	1 さくいん	2 すこ	3	2	2	1	4	4	3	4	3	2	各2	2	各2	各1	8	8	12	22
8				8		12				22																													